

2026年6月30日

各位

DCI パートナーズ株式会社
DCIP3 株式会社

「大和日台バイオベンチャー3号投資事業有限責任組合」設立のお知らせ

大和証券グループの DCI パートナーズ株式会社は、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「中小機構」）および台湾政府機関である行政院国家発展基金（National Development Fund, Executive Yuan、以下「NDF」）をはじめとする、国内外の投資家よりご出資頂き、「大和日台バイオベンチャー3号投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）を組成しましたことを、お知らせいたします。今後、出資約束総額を 250 億円まで拡充していく予定です。

記

1. 趣旨

本ファンドは、日本と台湾の創薬分野を中心とした未上場のバイオベンチャーへ投資を行う、ベンチャー投資ファンドです。2015年に設立した、総額 116 億円の創薬特化型ファンド「大和日台バイオベンチャー投資事業有限責任組合」（以下「1号ファンド」）、2020年に設立した、総額 153 億円の創薬特化型ファンド「大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任組合」（以下「2号ファンド」）の後続ファンドとして運用されます。

新型コロナウイルスのパンデミックを経て、以前にも増して創薬力強化が重要視されつつある中、革新的医薬品の創出を担うバイオベンチャーがこれまで以上に注目を集め、その社会的意義や役割への期待が高まっております。ここ数年で、助成金等の公的研究費からの資金支援体制の整備や研究開発人材の流入等、バイオベンチャーを取り囲む創薬エコシステムが強化され、研究開発に着手するハードルが低くなりつつあります。その一方で、より資金需要が高まる事業化に向けたステージでのリスクマネーの供給は未だ十分とは言えず、資金面の制約からベンチャー企業の成長が難しい時期が続いております。

このような資金需要にこたえるべく、中小機構、NDFをはじめとする多数の国内外の投資家よりご出資頂き、バイオ専門ファンドとしては日本最大級の 2号ファンドを上回る規模で本ファンドを設立いたしました。

これまで蓄積してきたノウハウを活かし、日台のバイオベンチャーにリスクマネーを供給し、投資先企業の研究開発の促進および企業価値向上に努め、投資リターンを追求してまいります。

2. 投資環境、ファンドの特長

（日本の投資環境）

日本政府は「日本再興戦略」「健康・医療戦略」にて、健康医療産業の育成を強力に進めています。「超スマート社会の実現」が謳われ、世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成が重要課題として挙げられています。最近では、政府による「骨太方針 2025」の中においても「創薬力の強化とイノベーションの推進」が打ち出されるなど、再生医療や遺伝子治療を中心に創薬環境を取り巻く規制面の整備が進められるとともに、様々な支援が行われております。

創薬バイオベンチャーにおいては、製薬企業が自前主義から小回りの利くバイオベンチャーへ開発主体が移るシフトチェンジの中、ライセンス導出の件数が増加傾向にあるとともに、ベンチャーが手掛ける新しい分野（再生医療、バイオ医薬品）の上市例や、上市目前のパイプラインが登場するなど着実に実績を積み上げております。国内外製薬会社と創薬バイオベンチャーの提携は活発化しており、今後更にバイオベンチャーによるライセンス導出や、IPO そして M&A による Exit が期待されます。

（台湾の投資環境）

台湾政府はバイオテクノロジー産業を国家の戦略産業の 1 つとして位置づけ、半導体に次ぐもう一つの「護国神山」となるよう、その育成・発展を強力に進めています。台湾は優れた医薬品開発環境を有し、また地理的にアジアでの臨床開発のハブとしての優位性を有しています。

バイオ企業においては原薬製造、後発医薬や医療機器の分野に加えて昨今、新薬開発を行うバイオベンチャーが急速に数多く登場しており、投資対象の裾野が着実に拡大しております。

台湾上場バイオ企業数も年々増加し、数多くのユニコーン企業が登場するなど、株式市場の活況と共に M&A による Exit が期待される環境が整ってきており、今後更なるバイオ企業の成長・発展が期待できます。

（本ファンドの特長）

本ファンドでは、人材とノウハウ、ファンドの資金力を活かし、既に起業されているバイオベンチャーへの投資に加えて、ファンド主導で事業を推進する“ベンチャークリエーションモデル”も引き続き採用いたします。ベンチャークリエーションモデルは、会社の設立、シーズの導入、人材の確保、研究開発といった創薬ビジネスをファンド主体となって行います。

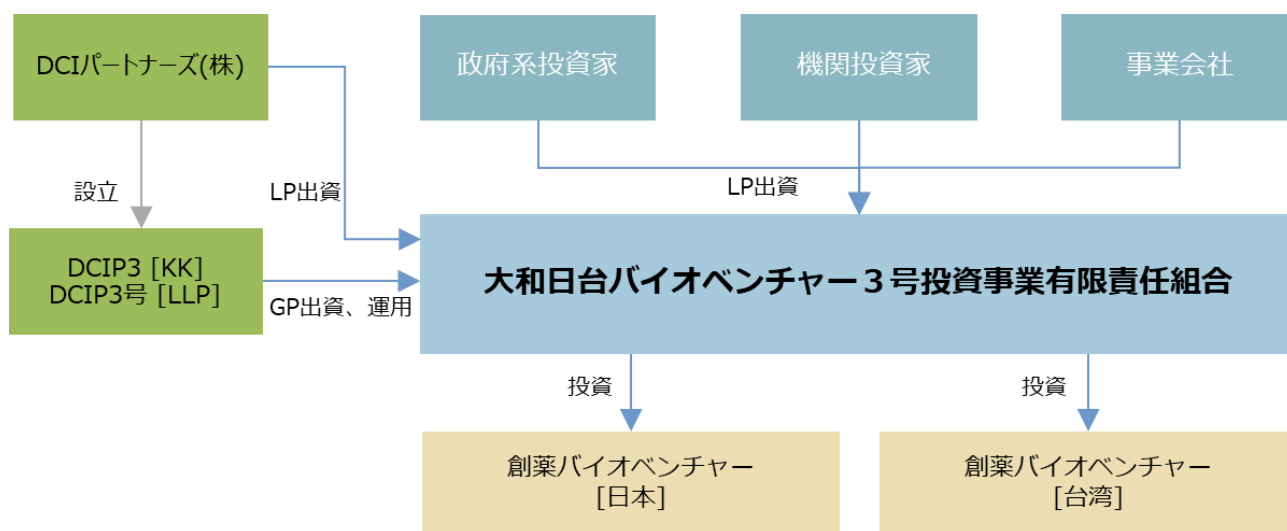
リスクマネーの供給のみならず、医薬品開発・ライセンス戦略・薬事戦略・事業開発等の知見を有する経験豊富な外部専門家と連携するとともに、大学・研究機関・バイオ企業・製薬会社との連携等を通じて、投資先企業に対する積極的なハンズオン支援を行い、投資先企業の企業価値向上を図ってまいります。

また、本ファンドを通じて、日本と台湾の企業間のアライアンスも積極的に推進するこ

とにより、グローバルな事業展開が求められるバイオベンチャーに対する多様な支援が可能になると考えております。

本ファンドの投資活動が、日台のバイオ分野の発展、そしてすべての人の健康ならびに社会に貢献できるよう取組んでまいります。

3. スキーム概要



(本ファンドの概要)

名称	大和日台バイオベンチャー3号投資事業有限責任組合
無限責任組合員 (GP)	DCIP3 株式会社および DCIP3 号有限責任事業組合
運営期間	10年
投資期間	5年

(DCI パートナーズ株式会社の概要)

名称	DCI パートナーズ株式会社
設立日	2014年5月20日
資本金	50百万円
所在地	東京都千代田区丸の内1丁目9番1号
代表取締役社長	成田 宏紀

(DCIP3 株式会社の概要)

名称	DCIP3 株式会社
資本金	30百万円
所在地	東京都千代田区丸の内1丁目9番1号
株主	DCI パートナーズ株式会社 (100%)
代表取締役社長	成田 宏紀

(DCIP3 号有限責任事業組合の概要)

名称	DCIP3 号有限責任事業組合
所在地	東京都千代田区丸の内 1 丁目 9 番 1 号
組合員	DCI パートナーズ株式会社、運用担当者

以上